

2018年7月9日

**アムンディ・次世代医療テクノロジー™・ファンド（年2回決算型）（愛称：みらいメディカル™）**

**本日より、近畿大阪銀行、みなと銀行で取扱開始**

**アムンディ・ジャパン株式会社**

アムンディ・ジャパン（東京都千代田区、代表取締役社長：ローラン・ベルティオ）は、**アムンディ・次世代医療テクノロジー™・ファンド（年2回決算型）（愛称：みらいメディカル™）**を本日より近畿大阪銀行およびみなと銀行にて取扱開始いたします。

**アムンディ・次世代医療テクノロジー™・ファンド**は、人工知能（AI）、ビッグデータ等、テクノロジーの進化を基盤に更なるイノベーションや市場拡大が期待される医療テクノロジー（MediTech™=メディカルテクノロジー）分野に注目した株式ファンドで、投資先企業には主に、ゲノム、免疫療法、再生医療、次世代医療機器、遠隔診断や治療等の分野で成長が期待される先進国企業が含まれます。

当ファンドの運用は、テーマ株ファンド運用を中核とするアムンディ傘下の資産運用会社 CPR アセットマネジメント※の運用プロフェッショナルチームが行い、個別銘柄選択を重視した運用を行います。

人生100年時代の到来とともに、今、医療分野は新たな医療インフラ産業への大きな転換期を迎えており、これまでの治療中心の医療から、今後は発病前の予防医療から治療後のケアまでのトータルなソリューションの提供が可能になる他、個々人に最適なテーラーメイド型の医療ソリューションの提供へと進化し、その過程に関わる様々な医療テクノロジー関連市場の継続的な成長が期待されています。

アムンディ・ジャパンは、今後も投資家の皆さまの様々なニーズにお応えするソリューション商品の提供を通じ、日本市場の発展に貢献してまいります。



**次世代医療テクノロジーがかなえる、  
人生100年時代への挑戦**

本ファンドに関する情報はこちらからご覧いただけます。  
<https://www.amundi.co.jp/fund/focus/miraimedical.html>



TM=商標登録出願中

※ CPR アセットマネジメント

2017年10月末現在6,324億円の資産を運用するアムンディ傘下の資産運用会社。テーマ株ファンドの運用で15年以上の実績。同社の運用プロフェッショナルチームがアムンディのリサーチ部門と緊密に連携して運用を行います。

## 投資リスクについて

ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として株式など値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクがあります）に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。ファンドの基準価額の下落により、損失を被り投資元本を割込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の変動要因としては「価格変動リスク」「特定業種への投資リスク」「為替変動リスク」「信用リスク」「流動性リスク」「カントリーリスク」等があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## 手数料・費用等

### 〈投資者が直接的に負担する費用〉

購入時手数料	当初申込期間：1口につき1円に、販売会社が独自に定める料率を乗じて得た金額とします。 継続申込期間：購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が独自に定める料率を乗じて得た金額とします。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。	
	料率上限 (本書作成日現在)	役務の内容
	3.24% (税抜3.0%)	商品や関連する投資環境の説明および情報提供等、ならびに購入に関する事務コストの対価として販売会社にお支払いいただきます。
信託財産留保額	ありません。	

### 〈投資者が投資信託財産で間接的に負担する費用〉

運用管理費用 (信託報酬)	信託報酬の総額は、投資信託財産の純資産総額に対し <b>年率1.7604% (税抜1.63%)</b> を乗じて得た金額とし、ファンドの計算期間を通じて毎日、費用計上されます。 【信託報酬の配分】		
	支払先	料率(年率)	役務の内容
	委託会社	0.80% (税抜)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
	販売会社	0.80% (税抜)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
	受託会社	0.03% (税抜)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行等の対価
	【支払方法】 毎計算期間末または信託終了のとき、投資信託財産中から支弁します。 委託会社がマザーファンドの投資顧問会社に支払う報酬額は、投資信託財産の日々の純資産総額に年率0.80%を上限として乗じて得た金額とし、毎計算期間末または信託終了のとき、委託会社の報酬から支払うものとします。 ◆上記の運用管理費用(信託報酬)は、本書作成日現在のものです。		
その他の費用・手数料	その他の費用・手数料として下記の費用等が投資者の負担となり、ファンドから支払われます。 ●有価証券売買時の売買委託手数料および組入資産の保管費用などの諸費用 ●信託事務の処理等に要する諸費用(監査費用、目論見書・運用報告書等の印刷費用、有価証券届出書関連費用等を含みます。) ●投資信託財産に関する租税 等 *その他の費用・手数料の合計額は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。		

◆ファンドの費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

## アムンディについて

アムンディはフランス・パリに本拠を置き、世界 6 都市の主要な運用拠点<sup>※1</sup>を通じて約 190 兆円<sup>※2</sup>の資産を運用する、欧州 No. 1<sup>※3</sup>、世界トップ 10<sup>※3</sup>の資産運用会社です。2015 年 11 月ユーロネクスト・パリ市場に上場。資産運用会社の株式時価総額で欧州 No. 1<sup>※4</sup>を誇り、世界 37 の国・地域の事業拠点で競争力の高い運用ソリューションを提供しています。アムンディの一貫した目標は、日本でもグローバルでも、お客さま本位のビジネスの実行で、個人投資家および機関投資家に対し、革新的で透明性の高い運用ソリューションの提供に努めています。

公式ウェブサイト：[amundi.co.jp](http://amundi.co.jp)

- 1 主要運用拠点：ボストン ダブリン ロンドン ミラノ パリ 東京（アルファベット順）
- 2 運用資産額は、2017年3月末日現在。約1兆4,520億ユーロ、1ユーロ=130.52円で換算。
- 3 出所：インベストメント・ペンション・ヨーロッパによる資産運用会社トップ400社（2017年6月版、2016年12月末の運用資産額）に基づく。
- 4 2017年12月末日時点の発行済株式の時価総額に基づく。

本件に関するお問合せ先：アムンディ・ジャパン株式会社 広報室  
e-mail：[pr@jp.amundi.com](mailto:pr@jp.amundi.com) 直通：03-3593-5700

当資料は、アムンディ・次世代医療テクノロジー<sup>TM</sup>・ファンド（年 2 回決算型）（愛称：みらいメディカル<sup>TM</sup>）へのご理解を深めていただくことを目的として、アムンディ・ジャパン株式会社が作成した資料です。当ファンドをお申込みの際には投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡しますので、必ず内容をご確認のうえご自身でご判断ください。